

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 11 日作成)

|                              |   |                                |                                |
|------------------------------|---|--------------------------------|--------------------------------|
| 小委員会名                        | 建築人間工学小委員会  |                                | 主 査 名：白石 光昭<br>就任年月：2010 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)   |                                | 委員長名：松村秀一<br>主 査 名：大野隆一        |
| 設 置 期 間                      | 2010 年 4 月 ～ 2012 年 3 月   |                                |                                |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築空間・設備機器・家具の安全性や快適性の実現に必要な人間工学関連の知見を蓄積・更新し、これらを供給者ならびに生活者に提言することを目的とする</li> <li>・ 2010 年度：研究会の開催、基礎資料データの整備と利用促進、若手研究者の研究公表の支援</li> <li>・ 2011 年度：前年度と同じ</li> </ul> |                                |                                |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | 委員公募の有無：有   |                                |                                |
|                              | 白石光昭 (千葉工業大学)、古賀紀江 (前橋工科大学)、後藤義明 (岡山理科大学)、齋藤芳徳 (茨城大学)、佐野友紀 (早稲田大学)、嶋田 拓 (明野設備研究所)、武田雄二 (愛知産業大学)、岡田明 (大阪市立大学)、田中直人 (摂南大学)、田中眞二 (積水ハウス)、吉岡陽介 (千葉大学)、遠田敦 (東洋理科大学)、西岡基夫 (大阪市立大学)、山崎晋 (明治大学)、畠山雄豪 (早稲田大学)          |                                |                                |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | 研究企画 WG：研究会等の企画、関連分野との交流企画  |                                |                                |
| 2011 年度予算                    | 190,000 円   | ホームページ公開の有無：なし<br>委員会 HP アドレス： |                                |

| 項 目                            | 自己評価   |
|--------------------------------|--|
| 委員会開催数                         | 6 回 (開催済)  |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は<br>除く)      |  |
| 講習会                            |  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)  | 1. 第 55 回大型商業空間におけるユニバーサルデザイン導入の試みと到達点<br>参加者数 31 名  |
| 大会研究集会                         |  |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等             |  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 研究会開催：開催予定が 1 回、運営委員空きでは承認済だが、次年度開催予定が 1 回。達成率は 70%。<br>2. 小委員会開催：計画通り 6 回開催。達成率 100%。<br>3. 建築人間工学 WG は研究企画を行ったが、他の目標については未達である。 |
| 委員会活動の問題点・課題                   | 1. 当該領域の重要性を伝達し、若手研究者の育成、かつ委員会への参加を広く呼びかけていく必要がある。<br>2. 基礎的かつ学際的分野であるので、広く人材を求めていく必要がある。  |